
歩くと違う世界だった

クレヨンのドミノ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歩くと違う世界だった

【Nコード】

N7080Q

【作者名】

クレヨンのドミノ

【あらすじ】

主人公、古谷味凜こたにみりんは

写真を撮るのが大好きな女子大生。ちなみにフリー。

「写真を撮ろうー!!」

そう言い電車に乗って向かったのは

先日伯父が言っていた『緑湯駅』（りよくとうえき）

そこは、想像をこえる感じるものがあった。

プロローグ。

今、季節は春になったばかり。

この間豆まきも終えて、本格的に暖かくなってきました。

っつてことで。

「写真撮りに行こー!!」

現在、私は電車で揺られている。

行き先は、『りょくとつえき緑湯駅』

変わった名前だなあ……。どんな所なんだろう？

実は私、初めて行くんです。

きっかけは、先日、伯父の「緑湯町って知ってるか？」という言葉。
なんでも景色がきれいで、春は特に何かを感じるそうです。

「何かって何？」

聞いてみたけど、

「よく分からない(笑)」

と言われました。

何なんだろうかあの伯父は……。

とりあえず行ってみた次第です!!

……伯父、私は信じてるよ!

もし期待を裏切ったら駅代ちょうだいね!

プロローグ。(後書き)

クリックありがとうございます！

クレヨンのドミノといます。

初めての投稿で緊張して手が冷たいです

これから書き綴っていきたいと思いますので
よろしく願います。

では失礼しました！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7080q/>

歩くと違う世界だった

2011年10月8日18時33分発行